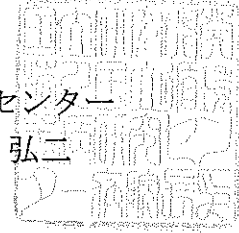


2021年3月24日

吹田市遺伝子情報保護連絡会
会長 川西 克幸 殿

国立循環器病研究センター
病院長 飯原 弘二



平素は、国立循環器病研究センターの運営に関しまして、格段のご高配賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして下記のとおり報告いたします。

記

国立循環器病研究センター吹田研究に関する遺伝子試料等について

令和3年3月3日に、ヒトゲノム・遺伝子解析研究ガバナンス委員会において、以下の2点について確認し、特に問題点がなかったことを報告申し上げます。

1. 研究期間を超えて保管された遺伝子試料に関する 現状報告

吹田研究で再同意を受けた2,569人分の遺伝子試料、同意書、施錠された金庫内保管の遺伝子情報について、当センター移転に伴い、適切に移送しましたことを前回の吹田市遺伝子情報保護連絡会で報告申し上げました（令和元年8月21日）。その後、保存した遺伝子試料は保存されたままであることを報告申し上げます。

当該遺伝子試料及び遺伝子情報に係る研究利用の再開については、再開が決まり次第、倫理委員会の承認を得ると同時に、吹田市遺伝子情報保護連絡会に遅滞なくご報告申し上げます。

2. 高齢期脳内βアミロイド蓄積に関する国際比較とアミロイド蓄積に関する食事因子の解明

本研究は吹田研究対象者の中で、ApoEアイソザイムを調べるために取得した全血検体121本をバイオバンクのディープフリーザーにて保存しており、健診部講義室奥の倉庫の書棚に同意書を保管しており、講義室、倉庫、書棚にそれぞれ施錠がかかっており、適切に保管されており、特に問題点はありませんでした。

なお、前回の吹田市遺伝子情報保護連絡会でディープフリーザーの鍵を堅牢なものにとのことでしたので、より大きな南京錠に速やかに取り換えております。

(別紙)

2021年3月1日

吹田市遺伝子情報保護連絡会
会長 川西 克幸 殿

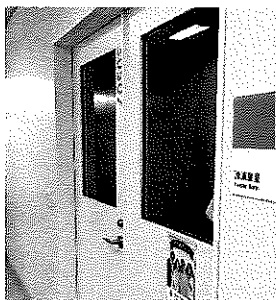
国立循環器病研究センター
健診部 小久保 喜弘

1. 研究期間を超えて保管された吹田研究の遺伝子試料に関する 現状報告

1-1. 遺伝子資料の保管

研究棟3階 バイオバンク冷凍庫室 (30507室：常時施錠、予め登録された者のみ入退室可能、温度自動管理)

冷凍庫室 30507 室



冷凍庫南京錠



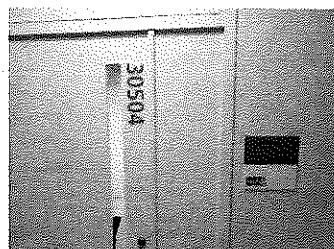
遺伝子資料



1-2. 同意書の保管

バイオバンク係員室 (30504室：常時施錠、予め登録された者のみ入退室可能、常時施錠のかかるキャビネット内に同意書を保管)

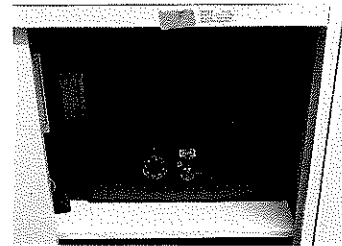
同意書保管室 30504 室



同意書保管状況



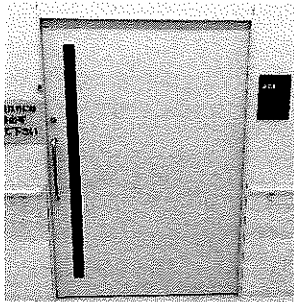
1-3. 健診部倉庫（常時施錠、講義室内の部屋であり、その中に常時施錠したキャビネット内に手提げ金庫にハードディスクを格納。講義室も帰室時に施錠）



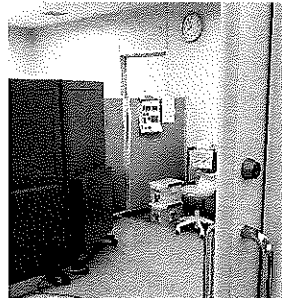
2. 高齢期脳内βアミロイド蓄積に関する国際比較とアミロイド蓄積に関する食事因子の解明に関する研究の状況について

全血検体 121 本をバイオバンクのディープフリーザーにて保存しており、また、健診部講義室奥の倉庫の書棚に同意書を保管しており、講義室、倉庫、書棚にそれぞれ施錠がかかる環境に保管している。

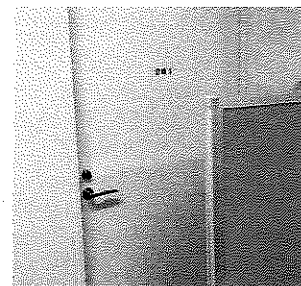
健診部講義室



講義室内(現在 PCR 採取場)



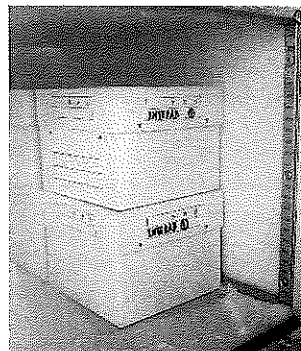
講義室奥の倉庫室



同意書 (倉庫室内)



バイオバンク冷凍庫内



全血検体

